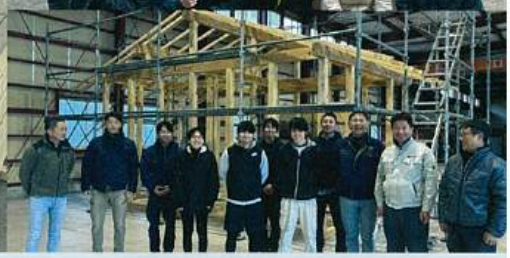
令和７年度暮らし維持のための安全・安心確保モデル事業

これからも必要とされる
大工の仕事を、もっと
深く学びませんか？

残す“志”

新人・若手大工手刻み研修会



募集対象	大工職を目指したい方／大工経験 1～3 年目の方
研修内容	座学研修 2 講座＋実技研修 11 講座（計 13 講座）
研修期間	2025 年 7 月～2026 年 1 月
募集人数	西部会場 10 名、東部会場 10 名
研修費用	12,000 円／ 1 年間（合計 1 万円のテキスト 5 種類を含む）
応募方法	申込用紙に必要事項を記入の上事務局へ FAX、 もしくは右記 QR コードの特設ページよりご応募ください。
開催場所	西部会場：磐田市 株式会社カワイ 東部会場：富士市 株式会社マルダイ ※地図はパンフレット裏面に記載
備　　考	受講 2 年目の方は大工技能士 2 級課題「四方転びの踏み台」の作成、 もしくは「周り階段の手刻み」が課題となります。

申込フォーム

左の QR コードを
読み込んでください。

申込締切　2025 年 7 月 15 日 (火)

主催：静岡大工育成プロジェクト（一般社団法人富士山木造住宅協会・一般社団法人静岡木の家ネットワーク）
問い合わせ：一般社団法人富士山木造住宅協会　TEL 0545-35-3003　Email info@fuji-jbn.com

なぜ今「大工育成」が必要とされているのか？

静岡大工育成 Project

1 事業の目的 the purpose

国勢調査によると国内の大工人口は1995年の 76万人から減少幅が増加、15年には35万人まで減少。野村総合研究所(NRI)では、30 年の大工の人数は21万人にまで減少すると試算し、このまま行くと住宅供給に支障が出かねない。施工現場での人手確保が急務になりつつある中、各工務店での対応が難しいため、静岡県内の工務店2団体とコラボレートして講師や研修用資材などを提供し、大工育成に力を入れる。

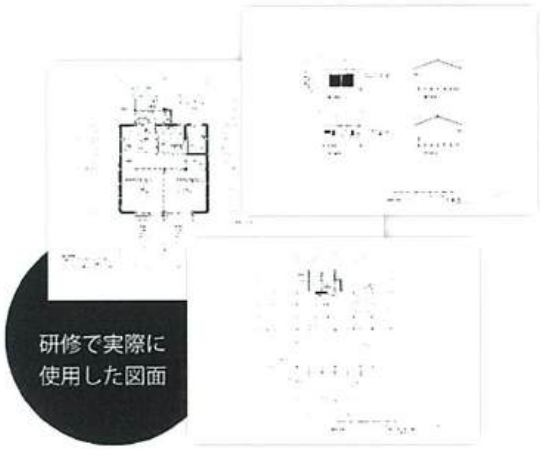
2 事業計画 the plans

木造技能者育成検討委員会が設定している「レベル1」を目標とする"木造軸組み在来工法"を対象にした12工程のカリキュラムを組み込んだ研修会を、静岡県西部 (静岡木の家ネットワーク)と静岡県東部(富士山木造住宅協会)の主催の下で開催する。

3 事業の必要性 the necessity

①大工の心得を身につけることが必要となる
②現在の業務を振返りつつ、その施工法や寸法の裏づけを知ることで、現在の業務に生かすことが必要となる
③機械化された作業の中で失われつつある「墨付け・手刻み」を養うことが必要となる
④大工仕事周辺の幅広い技術を見につけ「新しいこれからの大工」へ第一歩とすることが必要 となる
上記4点の内容から、これらの課題に対応したカリキュラムで研修を実施するため、本事業は必要である。

昨年度の実績



研修で実際に使用した図面

全12講座で図面から建造物を制作！

研修生の声

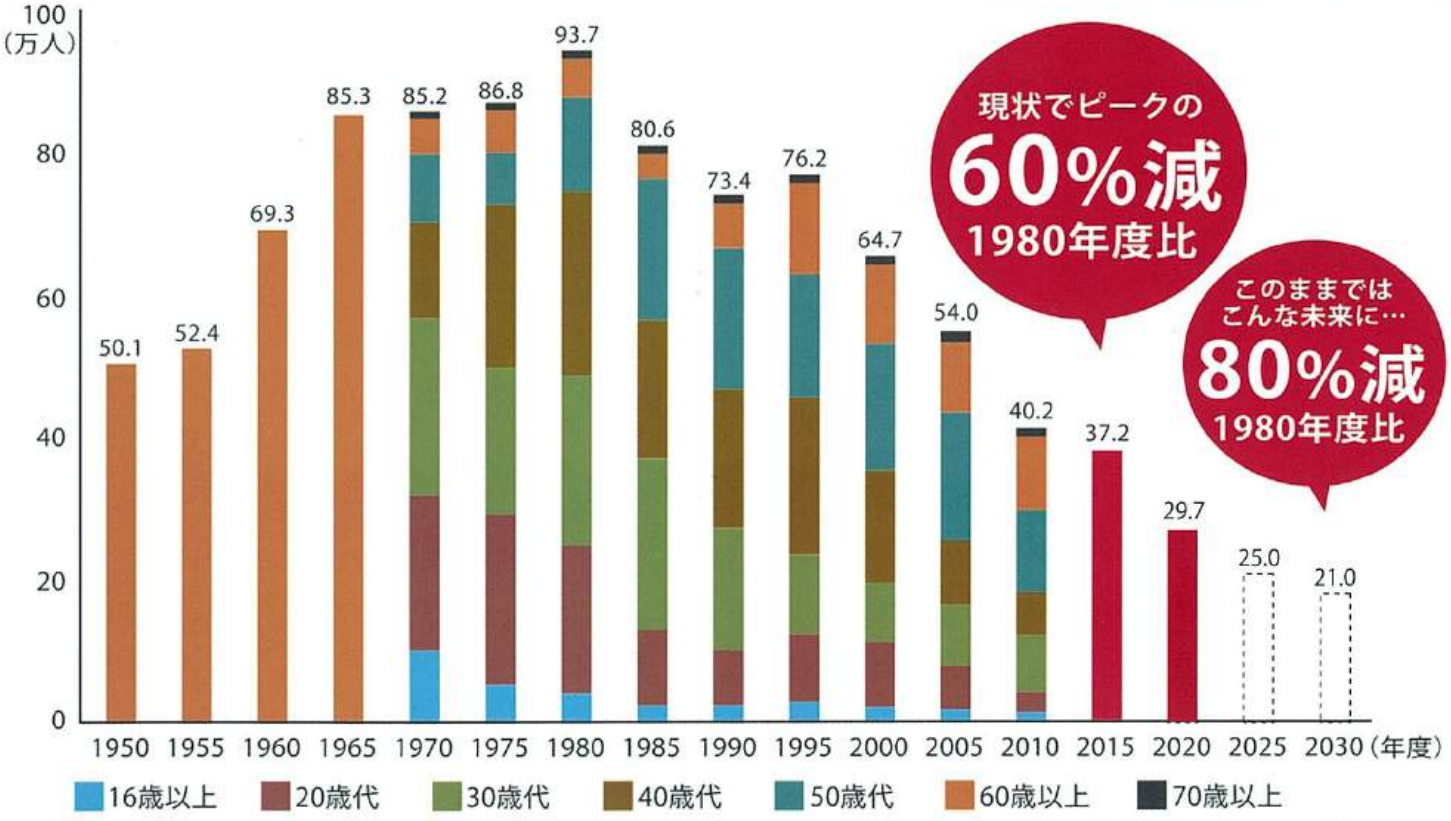
Check Point

需要はあるのに減り続ける「大工」

1980年の約937,000人をピークに、1980年比で「約８割減」になる!? 2030年には約200,000人に減ると予測される「大工の就業者数」

以下の資料は国土交通省の国勢調査を元に「全建総連」が作成した大工就業者数の推移・予測です。これからも必要な、家づくりの要となるべき大工のなり手がいなくなってしまうことに、建築業界は今までにない危機感を覚えています。2000年以降、少子化の影響により、就職年齢人口（15～24歳以下）は5年毎に10～15%ずつ少子化が進行しているなか、大工技能者における就職年齢人口は5年毎に約50%で減少しており、少子化のペースをはるかに上回っています。

大工就業者数の推移



※全建総連の組合員約62万人のうち、約14万人が大工。2015年国勢調査では大工は約37万人なので、４割弱が全建総連組合員という計算になる。
※本資料は国勢調査を参考に全建総連で推計

■ 良質で十分な木造住宅生産には、もっと多くの大工の力が欲しい

現在は80～90万戸（新設住宅着工戸数）を40万人の大工で支えています。例えば、上グラフの予測のように2030年に大工人口が20万人となった場合、40～45万戸程度の生産力となり、木造住宅生産に必要な大工を確保できなくなることが危惧されます。

■ 現場で必要とされ、長く働き続けられる大工技術者を育てる

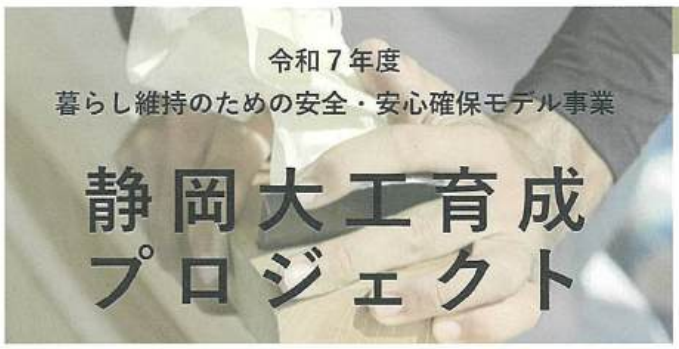
近年のプレカット・既製品・電動工具等の普及で、加工技術を修得せず、早期に手間請けで稼げる環境ができました。その弊害として技術習得に重きを置かない一人親方が増えてしまった現状があります。既製品の組立てが仕事の中心となった単能工的な一人親方は、30～40代で賃金ピークを迎えてしまいます。本当に役立つ大工技術を習得した、長く働き・稼げるような人材を育てる必要があります。

大工育成研修の様子

座学と実技研修を経て、チームを組んでの墨付けや手刻み、建て方などを実践しながら学んでいきます。

R７年度 講座日程

	西部会場 開催日	東部会場 開催日	講習内容
第１回	7/29（火）	7/31（木）	■座学（午前中） 木造住宅の構造と架構と力の流れ （1）日々の作業の振返りについて （2）建方現場での施工の確認 （3）聞取りと木造在来軸組の概要について （4）現場での寸法（板図と尺杖）について （5）現場のマナーについて ■実技（午後） 住宅の性能と架構 建て方研修会（基本） （1）道具の取扱い （2）手工具・電動工具など （3）鋸手・仕口と墨付・加工
第２回	8/5（火）	8/7（木）	■座学（午前中） 木造住宅の性能 （1）建築基準法・関連法令 （2）木造住宅の品質に関わる制度について （3）フラット 35 木造住宅の標準仕様書などについて （4）仕様と規定それらの関係性について ■実技（午後） 住宅の性能と架構 建て方研修会（基本） （1）大玄能・叩き鑿・カンナ・キワガンナ・墨壺・墨差し・砥石・サシガネについて
第３回	8/19（火）	8/21（木）	実物件の墨付け研修及び住宅の性能と下地研修会 （1）矩計棒（献竿）・原寸型板（板図）作成 （2）蟻継ぎ（蟻ほぞ）・カマ継ぎの墨付け （3）内部の性能と仕様（床、内壁、天井、設備、断熱材）
第４回	9/9（火）	9/11（木）	実物件の墨付け研修及び住宅の性能と下地研修会 （1）蟻継ぎ（蟻ほぞ）・カマ継ぎの墨付け （2）施工工程 （3）断熱・気密の仕様と性能 （4）仕上材の種類・違いと下地・納まり
第５回	9/30（火）	9/25（木）	実物件の墨付け研修及び住宅の性能と下地研修会 （1）蟻継ぎ（蟻ほぞ）・カマ継ぎの墨付け （2）断熱・気密施工 （3）内部下地施工（床 内壁 天井）
第６回	10/14（火）	10/16（木）	実物件の手刻み研修及び住宅の性能と下地研修会 （1）土台・柱の手刻み加工 （2）外部の性能と仕様（開口部、外壁、屋根）について （3）仕上材の種類及び下地・納まりについて
第７回	10/28（火）	10/30（木）	実物件の手刻み研修及び住宅の性能と下地研修会 （1）土台・柱の手刻み加工 （2）開口部施工について （3）外部下地施工（屋根 外壁）について
第８回	11/11（火）	11/13（木）	実物件の建て方研修及び住宅の性能と仕上げ研修会 （1）柱・梁桁の手刻み加工 （2）番付・建て方手順 （3）屋根の形状と屋根仕上 （4）通気工法について （5）外部仕上材（屋根廻り、外壁、軒天）の種類と性能と納まり
座学研修	11/19（水）	11/19（水）	座学研修【労働安全衛生法（雇用時安全衛生教育）】
第９回	11/25（火）	11/27（木）	実物件の建て方研修及び住宅の性能と仕上げ研修会 （1）柱・梁桁・母屋・束の手刻み加工 （2）外部仕上の施工（屋根廻り）について （3）外部仕上の施工（外壁、軒天）について （4）金物の性能及び取り付けについて
第 10 回	12/9（火）	12/11（木）	実物件の補修研修及び住宅の性能と仕上げ研修会（増改築対応） （1）母屋・垂木・筋交い・間柱加工 （2）解体時の注意について （3）増築時の梁桁の寸法基準について （4）補強について
第 11 回	12/23（火）	12/25（木）	実物件の建て方研修 （1）建て方研修 （2）内部仕上げの施工（断熱材・無垢床） （3）外部仕上の施工（屋根廻り） （4）金物の性能及び取り付け
第 12 回	1/13（火）	1/15（木）	多能工対応研修会（外壁、クロス、設備機器取付実習）



研修会場

西部会場株式会社カワイ 本社
磐田市合代島 1212（新平山工業団地内）

東部会場株式会社マルダイ
富士市大渕 2410-1